

スタッフ、ボランティア募集中

*企画運営スタッフ：子ども、若者の環境改善と「子どもにやさしいまちづくり」のために、子どもファシリテーター、外遊びプレリーダー、ひろば見守りスタッフを募集します。

☆活動見学も大歓迎します。

●ワンストップひろば 111子どもプロジェクト

千種区豊年町3-18 都通団地1棟111号室

事業内容：子どもと親のひろば事業や、子ども・若者を対象とした遊び・学びの体験活動、子育て支援団体のネットワークづくりの促進などを行います。おおむね週4～5日開きます。

(乳幼児ひろばは原則月・水の10時半～14時開催)

<http://komachi-111.com>

電話 F A X 052-768-5914

e-mail komachi-net@nifty.com

●子ども・まちづくり情報センター (図書室)

昭和区御器所町名古屋工業大学内

事業内容：子ども・子育て支援、まちづくり支援に関する国内外の資料などの収集、紹介、閲覧や「子どもにやさしいまちづくり」研究会の運営事務を行います。詳しくは上記へ。

2012年度理事 () は所属団体、順不同

伊藤 一美 (MIC、IPA日本支部)

奥田 陸子 (IPA日本支部、天白子ネット)

田中 弘美 (障がいのある子どもの父母のネットワーク愛知)

大西 宏治 (富山大学人文学部、IPA日本支部)

山本 憲司 (社会福祉法人職員)

安藤 純子 (大学非常勤講師)

水野真由美 (NPO法人SKIP)

小島 康生 (中京大学心理学部)

三矢 勝司 (NPO法人岡崎まち育てセンター・リタ)

鬼頭 弘子 (NPO法人ひとにやさしいまちづくりネットワーク・東海)

2012年度アドバイザー () は所属団体、順不同

原 京子 (NPO法人子どもNPO、IPA日本支部)

丸山 政子 (NPO法人子育て支援のNPOまめっこ)

こんな人が会員です

*子どもを育てている人

*子育てサークルのリーダーや、サークル活動をしている人

*地域で子育てのサポートをしている人、してみたいと思う人

*自分のまちの子育て情報誌を作っている人

*地域でまちづくりに関心のある人

*子どもたちとさまざまな体験を一緒に楽しんでいる人

*学校に行かずに学ぶことを選んだ子どもたちを応援する人

*より良いコミュニケーションの方法を提案する人

*ハンディキャップを持つ子どもたちやその親を応援する人

*子どもたちの生活環境や遊びについて真剣に考えている人

*専門職、研究者、行政職員、ジャーナリスト、学生など

入会に際して

会の趣旨に賛同する方はだれでも会員になることができます。ただし特定の主義主張に基づく団体、結社の方はご遠慮ください。また会内で政治・宗教などの勧誘をされることも固くお断りします。

正会員、情報会員は会員専用のメーリングリストに登録できます。入会をご希望される方は事務局までご連絡いただければ申し込み用紙をお送りします。また子まのホームページからお申し込みできます。

会費、寄付の納入は「郵便振替00870-6-186168 特定非営利活動法人子ども&まちネット」もしくは「三菱東京UFJ 猪子石出張所 普通 3692864 特定非営利活動法人子ども&まちネット 理事長伊藤一美」へお願いします。

■会費■

・入会金 1,000円 (初回のみ)

・年会費

正会員 個人 5,000円 / 団体 A7,000円 B10,000円

(Aは年間予算100万円未満、Bは100万以上)

を目安としています)

情報会員 個人 5000円 / 団体 10,000円

賛助会員 個人 3000円～ / 企業 1口 10,000円～

☆学生は入会金無料、年会費半額。寄付、カンパも大歓迎です。

“こどもにやさしいまちづくりのために” 特定非営利活動法人子ども&まちネット

子どもが育つためには一つの村が必要です。

子どもが健やかに育つ「村=まち」はどんなカタチでしょう。

私たちは何ができるのでしょうか。

*

*

*

「子ども&まちネット (通称子まち)」は、

「こどもにやさしいまちづくり」を目的に、

*子どもがきちんと「子ども期」を生きること

*まちづくりに参画し、自分も他者も尊重できること

そんな社会を目指してつながった、

子ども・子育て支援、まちづくり活動をする

個人と団体のネットワークです。



☆Child Friendly Cities 「こどもにやさしいまちづくり」

ユニセフが展開する世界的事業に着目し、都市が「こどもにやさしい」ということはどういうことを市民、研究者、行政職

「子ども&まちネット」は子ども・子育て・まちづくりの支援団体のネットワークです。Child Friendly Cities「こどもにやさしいまちづくり」を目指し、子どもの環境がよりよくなるようさまざまな事業を行っています。

員らとともに研究し、社会に提言します。また、子どもや若者が一人の市民として、まちのハードとソフトに関して点検・評価したり、まちづくりに参画するための、ワークショップも行います。



(写真上段2点:「子どもと大人が作る新しいユニバーサルデザイン」事業のまち点検ワークショップ、下段左:「ヒア・バイ・ライト」ワークショップで英国NYA職員ハリー・ウェイドさんを招いて研修、下段右は「なごや子ども条例」策定に向けた子どもたちの意見収集ワークショップの様子)

☆セミナー、フォーラム、車座サロン

定例会、講座、インターネット、フォーラム、研修合宿を通じて、互いの活動の資質を高められるような場を作ります。

☆情報発信

会報「こまち通信」(年3回発行。A4判4~12ページ)、「子育て、子育てデータブック」、ブックレットNo.1「子育てサークルってなんだろう」、No.2「支援者インタビュー」、No.3「発達障害児のサポート」などの出版や、メーリングリストを運営し、会員内外で活発に意見交換、情報交流をしています。

☆相談、講師派遣、講座プログラミング

地域における子育て支援ネットワークづくり、親子が集うスペースの開設・運営、サークル・情報誌作り・まちづくりなど、その分野で活動する会員が得意な分野でサポートするほか、講師依頼に応じ講座企画のお手伝いをします。

☆他の地域ネットや行政との連携、情報交換

名古屋市内はもちろん、他の都道府県、海外で活動するネットワークや活動団体、行政と連携し、子どもがいきいきと育つ環境づくりのため、情報交換やイベント企画などで協働を進めています。

☆子ども・まちづくり情報センター

子どもの遊びやまちづくり、発達と子育てに関する書籍、DVD等のメディアを集め、海外の稀少な資料を翻訳、閲覧できるように整備しています。また若者が「こどもにやさしいまちづくり」に関して自由に学べるよう、研修やレクチャーを行うほか、居場所として活用できるように整備を進めています。

☆養成、実践講座、交流の場

子どもの遊び、自己尊重育て、環境、まちづくり、遊び場・防災防犯マップ作りなどのテーマで、アドバイザー・ファシリテーターの養成と実践講座を行います。子育てサークルや子育て応援の団体、まちづくり団体とのネットワークづくりも行います。

2012年からは、発達に不安がある子どもや若者の「心とからだの講座」プログラム開発に取り組みます。

☆子どもと若者の社会参画支援

子ども・若者が、環境やまちづくり、自分たちにかかわる施策に関心を持ち、自分の意見を大人に伝え、大人とともに計画作りができるためのプログラムを開発し、実践しています。

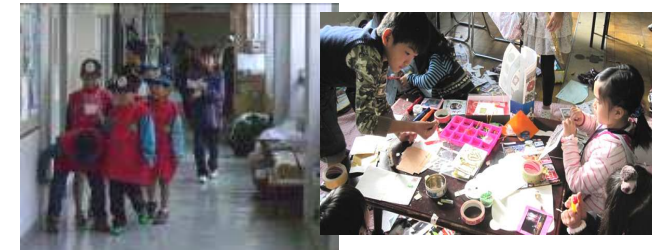
2008~9年には、イギリスのHbR(ヒアバイライト。子ども・若者の参画のための理念とツールをまとめたもの)の書籍化を行い、日本でもワークショップとして取り組めるよう、事業を推進しています。

2012年から、東日本大震災の被災地となった牡鹿半島で、子どもたちが復興計画に参画するためのプロジェクトを開始します。

☆遊び環境づくりプロジェクト

日本では「遊びの大切さ」の研究がなかなか進んでいませんが、子どもにとって心とからだの一番の栄養が「遊び」です。子まちは子どもの権利条約に基づいて、子ども参画型のまちづくりと遊ぶ権利について深く考え、発信しています。

また実際に、地域の公園や空き地に集まって遊ぶ「プレーパーク」事業や、「こどものまち(ミニ・ミュンヘン)」事業を行っています。



(左上、右上) こどものまち「キッズタウン」
(左) プレーパーク活動から